



地域に支えられて、10周年

新小山市民病院

だより 

No.40
2023年3月1日号*



目次

病院長挨拶	P.1	人間ドック案内	P.2
活動報告	P.3	お知らせ	P.4

TOPICS ★「第10回 小山の医療を考えるシンポジウム」開催★

3月5日(日)13時から、「第10回 小山の医療を考えるシンポジウム」を開催します。

このシンポジウムは、平成23年に小山地区医師会・小山市・市民病院の3者共催により、市民病院の独法化・新病院建設による再出発を契機として、小山市の地域医療をより安全で安心な状態にレベルアップさせることを目的に開催したものです。あれから12年が経過し、新小山市民病院も独法化10年を迎え、その間、当院は地域医療の充実のため一步一步確実に実績を積み重ねてまいりました。今回のシンポジウムでは、当院の今までの10年を振り返るとともに、それをベースとして、今後の10年では何をすべきか？何ができるのか？について、医師会・市民の皆様と一緒に考えてまいります。



“どうする、市民病院”

新小山市民病院10周年記念事業の一環として、病院管理職のメンバー30名ほどが、新小山市民病院の今後の10年の目指す方向についてフリートークしました。自由に各自の思いを出し合った結果は以下の様に要約されます。

①急性期医療の強化・拡充

本院の強みである心臓・脳領域に加えて、放射線治療施設を開設し、地域がん診療連携拠点病院となる。周産期センターも再開する。

②急性期から回復・慢性期へのスムーズな移行

地域に根付く公的病院として、緩和ケアや訪問看護など在宅診療にも取り組む。いっそ本院が分院を持てば、急性期で疲れたスタッフが人事異動できる。

③患者さん、職員に優しく、双方を惹きつけるマグネットホスピタル

働き方改革を進めて、離職率を低く維持する。患者さんのみならず、職員にとっても病院が癒しの空間となるように、職員の福利厚生を充実する。

④ロボット、AI、ITの導入

小山高専と共同してAIやロボットが活躍する新時代の病院を創る。



本院は、300床の中規模急性期病院であり、大学病院と地域の小規模病院の間に位置しています。小山および周辺地区の医療提供体制の中で本院がしなければならないことと本院職員ができることややりたいことを擦り合わせながら、本院の進むべき道を探っていくこととなります。未来について語るとき、夢のような話には、自分たちの本音がそこに見え隠れしており、実はポイントをついているかも知れません。

令和5年3月

新小山市民病院 理事長・病院長 島田和幸

令和5年度 国民健康保険および 後期高齢者保険対象者ドック予約のご案内

* 予約方法が変わります

- ◆ 令和5年度も引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策のため来院での予約は控えさせていただきます。
- ◆ 電話予約についても回線の混雑による不利益の無いよう公平さを担保するため期間中の受付は Web のみといたします。

国民健康保険・後期高齢者保険 検診券ご利用の皆様へ

☆ 令和5年度ドック予約について ☆

◆ 予約申込について

- 新小山市民病院ホームページ内の専用申込みフォームもしくは検診券に同封されている QR コードからお申込みください。
- 申込先 新小山市民病院予防医学センター
- 申込方法 Webのみ
- 申込期間 検診券が届き次第～3月31日(金)
※期間厳守



当院ホームページの
こちらに案内が
表示されます。

◆ 受診決定等について

- 人間ドック、レディースドック及び後期高齢者ドックにつきましては、抽選により決定するものとします。
- 決定通知 抽選当選者……郵送により4月14日(金)までに通知します。
抽選落選者……メール等により4月14日(金)までに通知します。
- 脳ドックは抽選による決定とはしません。

《受診年齢等条件》

- 人間ドック …………… 年度年齢 80 歳未満の方
- レディースドック …… 年度年齢 70 歳未満の女性の方
- 心臓ドック …………… 年度年齢 65 歳未満の方

《その他》

下記のいずれかの事項に該当される方の申込はお受けしかねますのでご了承ください。

- 新型コロナワクチン接種が3回以上済んでいない方
- 透析治療や抗癌剤治療、放射線治療中の方、または治療終了後1年以内の方
- 3か月以内に全身麻酔や腰椎麻酔で手術を実施した方
- 認知機能に障害がある方、自立動作や更衣が困難な方
- 妊娠を疑われる方、妊娠中、出産後半年以内の方



※詳しくは人間ドック等申込書の受診条件をご確認ください。

予防医学センター

★「糖尿病教室」開催決定!!★

糖尿病代謝内科の出口医師と竹田医師および病院スタッフによる公開講座を開催します。参加申込みは、総合案内にて直接申し込みするもしくはお電話(☎36-0200)にて申し込み下さい。皆様のご来場をお待ちしています。

開催日:令和5年 3月12日(日)
10:00~12:30
(受付9:30~)

定員:50名(先着順)

参加費:無料

申込締切:3月9日(木)

実施場所:新小山市民病院 さくらホール
(小山市神鳥谷2251-1)

対象:当院通院中で糖尿病に関心のある方

※軽い運動を予定しています。動きやすい服装でご参加ください。



★令和5年度 新小山市民病院出前講座★

地域の皆さまに、医療についてもっと身近に感じていただくことを目的とし、医師および病院スタッフが講師として、ご希望の地域にお伺いする「出前講座」を開催しています。詳しい講座内容は冊子および病院ホームページ等でお知らせしています。

日時:月曜日~金曜日 午前9時~午後4時

会場:申込者の指定する場所で小山市内

費用:無料

※会場予約および会場の設営は申込者の方がご準備ください。

【出前講座メニュー例】

…今年度より、医師による講座も開催します!…

- 運動器障害を学ぶ
 - 食事介助の注意点について
 - 医療技術系のお仕事紹介
 - 検査の見方について
 - 入院費に関する情報について
 - 介護保険について
- など

詳細は、事務部総務課(☎36-0282)まで。

★令和4(2022)年度 栃木県・栃木市総合防災訓練 に参加しました★

2022年12月11日(日)に行われた栃木県・栃木市総合防災訓練に当院のDMAT(災害医療派遣チーム)が参加しました。

この訓練は、栃木県が主催した総合防災訓練で、訓練参加者はおよそ1,000名の大規模なものでした。当院は、宮脇副院長をリーダーに4名1チームが、現場の救護所の支援に入るというかたちで参加しました。

事前の打ち合わせからリハーサル、当日は日も昇らない早朝から活動し、また新型コロナウイルス感染が拡大していたため、参加者の中にもやむを得ず急遽欠席になる隊員もあり、大変なことも多々ありましたが、無事訓練を終えることができました。

当院のDMATは結成まもなく新型コロナウイルス感染が拡大してしまったため、実践訓練を行う機会に恵まれず、経験が不足しているなかでやっと参加できた訓練です。

今後はようやく実践的な訓練も増えてくると思いますので、訓練を積み重ね、災害時にも落ち着いて冷静な判断・対応ができるようにレベルアップしていきたいと思います。



★新型コロナウイルス感染症 拡大に伴うDMAT派遣★

12月29日~1月3日の6日間、栃木県より「年末年始における栃木県新型コロナウイルス感染症入院医療調整本部へのDMAT派遣要請」が発出され、当院からは、その間延べ2名を派遣しました。

一般的に10月頃から寒くなる冬の時期は、救急搬送も増加し、各医療機関には受診(入院)される患者も非常に多くなるなか、新型コロナウイルス感染拡大(いわゆる第8波)の影響で、救急搬送の受入が困難になる状況が発生していました。年末年始には休診となる医療機関もあることから、特に新型コロナウイルス陽性患者の搬送困難症例について、全県的な搬送調整を行うための業務支援でした。この支援に入る前に栃木県の県央南臨時医療施設が開設されていたこともあり、当院のDMAT隊員が支援に入った時は、比較的調整もスムーズに行われました。

これまでに入院調整本部への派遣要請は、今回を含め3回ほどありましたが、当院のDMATは全ての回において支援に入りました。2019年12月末に中国武漢で確認された新型コロナウイルスを契機に、武漢からのチャーター便で帰国した邦人の待機時の健康管理や、ダイヤモンドプリンセス号の船内発症対応、その後国内各地でのコロナ対応に各地域のDMATが支援に入り、現在では新興感染症拡大時の支援はDMATの業務ということで、日本DMAT活動要領にも明記されています。今後も自然災害はもとより、こういった非常時の対応にもスムーズに取り組めるよう日々、訓練や情報収集に努めてまいります。



当院隊員は支援先で新年を迎えました。

令和5年1月着任 医師の紹介

1月～3月の間、短期間ですが、
自治医大より医師が派遣されました。
当院では、耳鼻咽喉科医を積極的に
募集しております！
他科も随時募集中です！！

こうしゅう りょうた
甲州 亮太

①所属

耳鼻咽喉科

②出身地

山形県

③趣味

昔はよく登山を
していました。

④専門分野(疾患)

耳鼻咽喉科一般

⑤ひとこと

3ヶ月の短い期間ですが、よろ
しく願います。



サイバーセキュリティ対策！

本年度は、電子カルテシステムの大規模な更新を行いました。
特に注力したのは、サイバーセキュリティ対策です。近年、医療業界でも大
きなサイバー攻撃が複数発生し、明日は我が身と危機感を募らせていました。
そこで今回システム更新のポイントとして、被害を受けない為の対策はもち
ろんのこと、被害を受けても「いかに早く復旧できるか」を目標に掲げました。
対策として、まずネットワーク設定を見直しました。院内では約500台の電子
カルテパソコンが稼働しており、安全な状態であるか確認をしながら、新しい
ものへと交換しました。

次に、サイバー攻撃を受けた病院の発生原因として話題になりましたが、
保守回線のセキュリティ問題への対応です。こちら、機器入替とともに、更
新プログラムが常に最新となるよう運用を見直しました。最後に、万が一感染
しても大切な情報が消失しないようデータバックアップも強固なものにしま
した。バックアップは取れていればいいものではなく、速やかに復旧できな
ければなりません。ニュースでは、被害を受けた病院は復旧まで数か月を要した
と報道されていましたが、当院では速やかにデータ復旧ができると評価の高
いバックアップシステムを導入しました。電子カルテ更新以外でも、メールセ
キュリティの導入など、病院全体のセキュリティを高めるよう進めていますが、
これだけ対策を施してもまだ足りないと思ってしまうのが、サイバーセキュ
リティ対策です。お金をいくらかけても巧妙に攻撃してくる相手とはいたちご
つこになってしまいます。そこで最終的に重要となるのは、システムを使う職員
が危険性を理解し適切に使用できるかどうかです。実際に、攻撃者は最初か
ら特定の病院をピンポイントで狙うよりも、職員の不用意
な操作により、脆弱性が露見し攻撃されるほうが多いと聞
きます。患者さんの大切なデータが危険にさらされること
が無いよう、院内研修を実施し、セキュリティへの理解を深
め、皆さんのカルテ情報をお守りしていきます。

職員採用のお知らせ

～私たちと一緒に働きませんか～

ご連絡をお待ちしています。

【正職員】

1. 医師

地域医療に興味のある方、そろそろ地元
に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせ
ください。

2. 看護師・介護福祉士

2023年度第1回採用試験
(採用日：2024年4月1日)

試験日：5月13日(土)

応募期間：4月3日(月)～4月25日(火)

3. 薬剤師

4. 保健師(予防医学センター)

【臨時職員】

1. 看護師

3. 臨床検査技師

2. 保健師

4. 診療情報管理士

※各職、詳細につきましては下記までお問い合わせ
せ、またはホームページをご確認ください。

お問い合わせ先 人事課 ☎36-0285

「神経内科」から「脳神経内科」へ

令和5年4月より「神経内科」から「脳神経内科」へ
標榜診療科目を変更いたします。

全国的には「脳神経内科」が一般的となっており、変
更することにより脳・神経の疾患を内科的専門知識
と技術をもって診療する診療科であることがわかり
やすくなり、適切な診療と治療を受けていただくこと
を目的としています。名称変更のみで、診療内
容は全く変わりません。従来通り、脳や神経系
でお困りのことやご心配なことがございましたら、いつでもご相談ください。



地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0827
栃木県小山市神鳥谷2251番地1

☎0285-36-0200(代表)

📍 <http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト <http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

📘 <https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

LINE公式アカウント 右記QRコードを読み取ってください。➡

